

アンディ・ウィスノ (アンディ)

バタック・プロテスタント・キリスト教会 (HKBP)

インドネシア・北スマトラ州 ポハン・トンガ

民族 / 部族: インドネシア
母語: インドネシア語
宗教: キリスト教
職業: 牧師志願者、養豚家



仕事について：

「私は、人生で起こることすべてが神様からの贈り物だと信じ、心より感謝しています。コミュニティのために奉仕する機会もそのひとつです。」

アンディ・ウィスノは、バタック・プロテスタント・キリスト教会 (HKBP) が運営する農場、ピロ・ハウスで働き、養豚についての教育を行っています。神学校時代から畜産プロジェクトの開発を任されていた彼は、この仕事が大好きになり、動物の健康と農場の持続可能性を維持するために重要な役割を担うようになりました。彼の最大の功績の一つは、世界的な家畜ウイルスの大流行時も豚の犠牲を出さなかったことです。彼のコミュニティでは、勤勉さ、誠実さ、相互支援が大切にされていますが、新しい農法に対する抵抗感を克服することが大きな課題です。アンディは農家とともに働き、最善の方法を示し、知識を共有することで人々と信頼を築いています。

アジア学院では、リーダーシップ・スキルを強化し、持続可能な農業、農村開発について学びを深めたいと考えており、農民の経済的安定と生活水準の向上に役立つ革新的なアイデアを持ち帰りたいと願っています。

アンディは将来、教育や、人々の権利や能力を高めることを通して、前向きな変化をもたらすような、より強力で協調性の高い農業コミュニティの構想を抱いています。

送り出し団体について：

バタック・プロテスタント・キリスト教会(HKBP)はインドネシア最大のキリスト教プロテスタント教会です。団体の使命はインドネシア全土のバタック族のコミュニティにおいて、教育、経済、健康に関する人々の権利や能力を高める活動を通じて、社会から疎外された人々の尊厳を回復させることにあります。持続可能な養豚と有機農業を推進する事業の中には、豚の飼育や自然繁殖の方法、有機飼料の生産を教えるものもあります。また、経済的レジリエンス強化のために、グループでの農業を奨励しています。アンディの卒業後は、彼が自分のコミュニティで有機農法による畜産と農業技術を共有できるようになることを願っています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)